



ドクターカーと隊員(→P1)

特集

- 特集① 名市大病院で
ドクターカーの試行運用が始まりました
- 特集② 秋のオープンキャンパス・大学祭を開催しました
- 特集③ 名市大病院、東部医療センター、西部医療センターが
初期研修でフルマッチを達成しました!

- 01 特集①
- 02 特集②③
- 03 NCU TRY!!
- 04 TOPICS
- 07 国際交流
- 08 学生の活躍
- 09 学生の受賞
- 10 受賞関連/教員著書・発行物紹介
- 11 イベントカレンダー/交流会だより/寄附顕彰

DONATION

あなたの力が支えです ご寄附のお願い

名古屋市立大学では、高いレベルの教育、研究、医療などの活動を展開し、市民に開かれた大学づくりを実践していくために、寄附金を募集しております。

問合せ：総務部 総務課
tel.052-853-8005

名市大病院で ドクターカーの試行運用が始まりました

名市大病院では、医師らが現場にいち早く駆け付けられるよう、2024年9月9日からドクターカーの試行運用を始めました。

2024年度の試行運用の段階では、名古屋市消防局からの要請に基づく出動は平日9時から16時まで限定して実施しています。2025年度からは市内で他に実施されていないドクターカーの24時間体制での本格運用を目指します。

ドクターカーとは

日本病院前救急診療医学会において、ドクターカーとは「緊急度・重症度の高い患者を病院外で診療するため、診療に必要な医療機器・医薬品等を搭載し、医師が搭乗した緊急自動車」と定義されています。名市大病院では、現在計2台のドクターカーを保有しています。



ドクターカー運用についての動画をご覧くださいませ↑

TYPE 1 ドクターカー 救急車タイプ

トヨタ・ハイエース

消防機関の救急車と同様の仕様で患者搬送機能を有するため、主に施設間搬送に用いています。



外装のデザイン



車内の様子



外装のデザイン



車内の様子

TYPE 2 ドクターカー 乗用車タイプ

トヨタ・ハリアー

医師等を資器材とともに現場に搬送することを目的とした仕様で、下記で紹介する名古屋市消防局との協定に基づき、119番通報の受付を行う防災指令センターからの要請を受けて出動します。



デザインを手がけた学生と影山准教授(右)

外装・内装は芸術工学部 影山友章研究室の学生がデザインしました。

●デザインのポイント

外装: 命の鼓動と、ドクターカーを通して「医療の輪」が地域に広がる様子を表現

内装: 患者さんが少しでも癒されることを願い、優しい色使いで落ち着きのある空間を表現

影山研究室へのインタビュー動画はこちらから→



協定締結式



集合写真



半田消防局長(左)と都理事長(右)

2024年8月1日付けで名市大病院と名古屋市消防局の相互の支援体制を確立するための連携協定が締結されました。

名古屋市消防局が誇る「日本一の救急出動体制」に、当院が運用する「ドクターカー」の活動が加わることで、重症患者への治療が素早く開始され、傷病者のさらなる救命率の向上と病態悪化の防止につながることが期待されます。

協定締結式は名古屋市役所で行われ、本市における高齢化や多発する交通事故、大規模災害による被害想定などを踏まえた救急・災害医療の展望について、名古屋市消防局と本学の間で意見交換がなされ、充実した式典となりました。

特集
2

秋のオープンキャンパス・大学祭を開催しました

秋のイベントシーズンを迎え、今年も本学の特徴である4キャンパスでの大学祭が行われました。

2024年10月12日(土)・13日(日)の川澄祭からスタートし、10月19日(土)・20日(日)の芸工祭、10月26日(土)・27日(日)の薬学祭、そして11月9日(土)・10日(日)の市大祭まで、約1か月間にわたって開催しました。

長い期間をかけて企画を準備してそれぞれ趣向を凝らして開催した本学のお祭りに、学生たちの熱気とご協力・ご参加いただいた地域の皆さまの活気とが合わさり、どのキャンパスも大盛況となりました。

また、同期間中には、秋のオープンキャンパスも各学部で開催されました。学部での学びや研究、模擬講義や大学生生活の紹介、キャンパスの案内などのプログラムを実施しました。どの日程も多くの高校生や保護者の方々にご参加いただき、本学の教育内容やキャンパスライフについてイメージしていただく良い機会となりました。



10.12 SAT - 13 SUN
川澄祭



10.19 SAT - 20 SUN
芸工祭



10.26 SAT - 27 SUN
薬学祭



11.9 SAT - 10 SUN
市大祭

特集
3

名市大病院、東部医療センター、西部医療センターが 初期研修でフルマッチを達成しました！

2024年10月24日(木)、2024年度医師臨床研修マッチングの最終結果が発表されました。名市大病院は、募集定員36名に対してマッチ者数36名のフルマッチを達成し、3年連続の100%達成となりました。

また、研修を受け入れている東部医療センター・西部医療センターでも附属病院化以降、連続でフルマッチを達成しています。全国の大学病院での初期研修医数が減少しているなかで、本病院群における初期研修プログラム受験者数は順調に増加しています。

今後も村上英樹総合研修センター長のもと、質の高い研修プログラムを実施してまいります。



学生向け説明会にてフルマッチを喜ぶ一同

医師臨床研修マッチングとは

医師臨床研修マッチングは、2004年度に医師の臨床研修が義務化されたことに合わせて導入されたシステム。臨床研修を受けようとする者(医学生等)と臨床研修を行う病院の研修プログラムを、お互いの希望を踏まえた上で、一定の規則に従いコンピュータにより組合せを決定します。

KEY PERSON 1



医学研究科
消化器・代謝内科学



助教 堀 寧

名古屋市立大学病院の肝・膵臓内科の堀寧です。私たち消化器内視鏡医は、放射線を使用した治療を行う際に放射線被ばくから守ってくれるX線防護衣を着るのですが、これが非常に重く、肩や腰が痛くて辛いです。年齢のせいかと思ったこともありましたが、若い仲間も苦しんでいました。腰痛ベルトを巻いたり、頸椎ヘルニアを患って内視鏡を持ってなくなり外来業務にシフトする人もいます。こうした問題を解消するために、X線防護衣インナー補助具を開発しました。

開発するにあたって身体の痛みの原因を探るため、200時間を超える姿勢解析を行った結果、上肢の「姿勢拘束」+X線防護衣の「荷重筋負荷」のせいで徐々に姿勢が悪く（前かがみ）になってしまい、痛みが生じることが明らかになりました。そこで、補助具は防護衣の下に着用して防護衣を肩から浮かせることで、身体にかかる負荷を工業力学（モーメント原理）を利用して分散し、身体への負荷の軽減と姿勢矯正も行うという全く新しい機構を搭載しています。補助具を着用した実際の計測で、肩にかかる負荷は30%にまで減りました。

現在は、これを具現化できる企業とミーティングを重ねています。長時間放射線業務に携わる医療従事者の方々、筋肉量の少ない女性に特に着用してほしいと考えています。健康労働寿命が延びることは、私たちの健康はもちろん、次世代への医療技術の継承にも寄与します。私たち医工連携グループは、医療労働関連MSDs研究部会 (<https://ergonomics-msds.org/>) を通じて「すべての医療従事者を守る快適な労働環境をつくる」という理念をもって活動しています。興味があればお声がけください。



補助具を着用した久野医師(左)と防護衣を持つ堀医師(右)

KEY PERSON 2



経済学研究科



研究科長 中山 徳良

本学経済学部では、現在の公共経済学科、マネジメントシステム学科および会計ファイナンス学科の3学科を、2025年4月から「経済経営学科」の1学科に再編します。

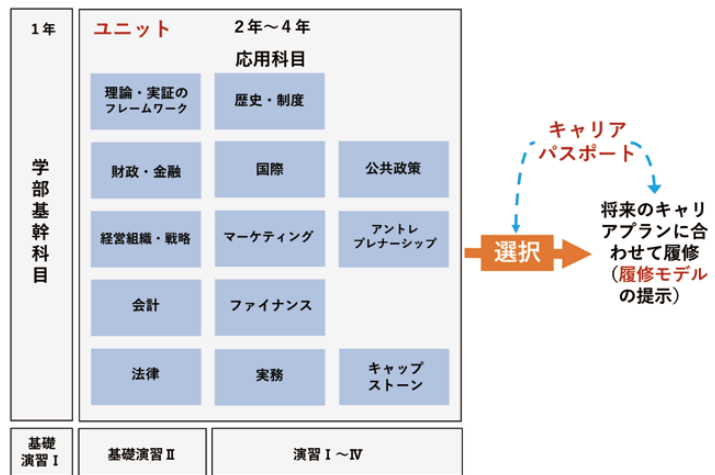
先行きが不透明で将来の予測が困難と言われるグローバル時代においては、2022年5月に発表された経済産業省「未来人材ビジョン」にもあるように、社会課題を解決するには「自ら育つ」という視点が重要です。そして、このような状況の中では、経済学と経営学の両方を学ぶ複眼的な思考が有益だと考えられます。

学生は、1学科制により経済学、経営学の様々な科目を学ぶことができ、将来

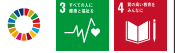
のキャリアプランに応じて学修の幅を広げられます。具体的には、「ユニット」と「キャリアパスポート」の二つを導入することで、それらを実現することを目指します。「ユニット」は近い分野をまとめた科目群で、将来のキャリアに応じた学修分野を明確にすることができます。

また、「キャリアパスポート」は30歳の自分の将来像をイメージしながら、現在の自分の知識・スキルを把握することで、未来像に応じて履修するユニットの選択を行えるようにサポートするものです。学生は自分の学んでいることが将来どのように役立てられるのかを考え、定期的に見直し・修正をすることができます。

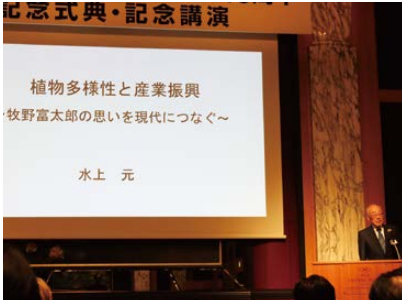
この度の再編により、社会が求める「自ら育つ」人材、社会課題や生活課題に「新しい解」を生み出せる人材の育成を推し進めてまいります。



DATE 2024.9.22



薬学部 薬学部140周年記念式典を執り行いました



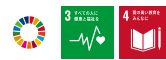
水上元名誉教授による記念講演の様子

本学薬学部は1884年(明治17年)に名古屋市中区下園町の製薬会社敷地内に名古屋薬学校が創立されて140年を迎えました。2024年9月22日(日・祝)にANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋にて、名古屋市長をはじめ近隣の関係来賓を迎えて記念式典・記念講演会、祝賀会が行われました。記念式典には179名の方にご参加いただきました。記念式典では河村典久薬友会会長、中川秀彦薬学研究科長の挨拶で開会され、河村たかし名古屋市長(当時)と田中里佳名古屋市長からご挨拶を賜りました。記念講演会では元高知県立牧野植物園長の水上元名誉教授が、前年のNHK朝ドラ『らんまん』に関わる裏話をご講演され、会場は興味をもって拝聴しました。全席円卓での祝賀会では、郡健二郎理事長から挨拶で、薬学部が発祥の地から現在の田辺通キャンパスに至るまで、名古屋市内を転々と移転した、その苦難の歴史を振り返りました。薬友会会長の乾杯の発声で始まり、薬学部名誉教授の近況に関するスピーチをいただき、浅井清文学長の閉会の言葉で幕を閉じました。

薬学部の歴史は本学70周年特設サイトよりご覧いただけます→



DATE 2024.9.10



医学部 医学部保健医療学科リハビリテーション学専攻が理学療法士学校および作業療法士学校の指定を受けました

2025年4月に医学部に新設する保健医療学科リハビリテーション学専攻について、国家資格の理学療法士及び作業療法士を養成する学校としての指定を受けるため、文部科学省に対して5月に行った申請に対して、文部科学大臣より2024年9月10日(火)に指定を受けました。

同学部内で医師、看護師、理学療法士及び作業療法士等の養成を進めることで、多職種連携教育をさらに強化するとともに、国公立大学としては国内最大規模の医学部附属病院群での実習等を通じて高度な臨床実践能力を養成し、地域医療に貢献してまいります。



夏のオープンキャンパスでのリハビリテーション体験の様子(市大病院リハビリテーション部にて)

DATE 2024.11.3



NCUサステナビリティ・プレゼンアワード2024を開催しました

2024年11月3日(日・祝)に桜山キャンパスにて、地域の高校生と大学生が「SDGs」について考えるNCUサステナビリティ・プレゼンアワード2024を開催しました。今年度は「衣」をテーマに高校生・大学生の自由な発想でSDGsに関する「問題提起」と「解決・改善策」を提案するプレゼンテーション大会とワークショップを行いました。当日は8グループが参加し、プレゼン大会では衣服をはじめ、様々なものを「衣」と捉えた発表がありました。参加者共同でのワークショップでは参加者全員が持続可能な社会の実現に向けて何ができるのかを考えることができました。参加した高校生・大学生にとって、お互いの学びや考えを共有する有意義な機会となりました。



参加者の集合写真

DATE 2024.8.28

東部医療センター

東部医療センターにて市民健康講座を開催しました

2024年8月28日(水)、新型コロナの影響で開催を中止していた市民健康講座を4年半ぶりに開催しました。東部医療センター産婦人科診療科部長の中山健太郎教授が、「婦人科悪性腫瘍の最新治療」をテーマに講演を行いました。当日は、20代から70代の幅広い年代の方々が参加しました。講演会後の参加者アンケートには、「講演で使用した資料も分かりやすく、動画での説明もありとても分かりやすかった」、「具体的なオオバの様子がよくわかり勉強になりました。侵襲性を下げる方法、妊娠率を高める方法など患者さんのために日々研究されていることを改めて感じました」、「腹腔鏡手術だと、傷口が小さく患者さんの負担を減らすことができることが分かった」など、良い感想を多くいただきました。質疑応答では、会場からの質問も多く大変盛り上がりました。



市民健康講座 中山教授の講演の様子

DATE 2024.9.5



第三期中期目標期間の業務実績に関する評価を受けました

第三期中期目標期間(平成30年度～令和5年度)の業務実績について、名古屋市立大学法人評価委員会から、中期目標の達成に向けて中期計画が順調に実施されたと評価を受けました。

なかでも、特筆すべき取り組みとして評価されたのは次の3点です。

- ①総合生命理学部、データサイエンス学部の設置等による特色ある教育の実施、②「大学の地域貢献度調査」(日本経済新聞社)にて2回連続(令和3年度発表、5年度発表)で総合ランキング全国1位となったことをはじめとした各種ランキングにおける上位獲得、③4病院(名古屋市立東部・西部医療センター、名古屋市立緑市民病院、厚生院附属病院)の大病院化を実施し、附属病院群が一体となった医療提供体制の充実を図ったこと
- 第三期中期目標期間における業務実績に関する評価結果書の全文を本学ウェブサイトに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。



名古屋市立大学法人評価委員会の木村彰吾委員長(右)から、本学郡理事長へ評価報告書が受け渡された時の様子

評価結果書の全文はこちらから→



DATE 2024.9.6



協議会の様子

3大学包括連携協議会を開催しました

2024年9月6日(金)に横浜市立大学において、本学、横浜市立大学、大阪公立大学による「3大学包括連携協議会」が開催されました。各大学の学長、副学長が一堂に会し、本学からは浅井清文学長、今泉祐治副学長、伊藤恭彦副学長が出席しました。本協議会は2009年の3大学での連携協定締結を契機として始まったもので、今回で16回目の開催となりました。今回は議題として、大学職員の育成や、大学教育の国際化、強みとすべき研究分野の分析方法について取り上げ、各大学の取り組み状況を共有しながら意見交換を行いました。また、協議会の後は横浜市立大学の附属病院の施設見学と懇親会を行い、各校教職員の交流を通して今後の連携強化につながる協議会となりました。



DATE 2024.8.10

高等教育院

令和6年度 名古屋市立大学寄附講座(近世名古屋学)・なごや学研究センター公開講座を開催しました

2024年8月10日(土)「名古屋城と庭園—日本の歴史と文化の象徴—」をテーマに、千田嘉博教授による公開講座を開催しました。

第1部は名古屋城調査研究センターの堀内亮介学芸員が二之丸御庭と下御深井御庭について講演されました。

第2部は千田教授が「日本の城郭と庭園」のテーマで名古屋城にも兼六園に匹敵する素晴らしい庭園が存在したと述べ、下御深井御庭の整備を進め、歴史的価値のある庭園を再現することで名古屋の魅力を発信できるのではないかと力説しました。

第3部は、名古屋城調査研究センター原史彦副所長補佐の司会進行のもと中土木事務所の鈴木昌哉所長と千田教授の特別対談が行われました。発掘調査の結果、二之丸側に舟の発着口があったとされたことから、大庭園空間を舟に乗って体験できるように再現してもらいたいと語られました。

参加者からは「名古屋市のこれからのまちづくり、未来づくりについて非常に興味深く聞いていた。」などの声が寄せられ、約550名の方が参加した公開講座は大盛況に終わりました。



第3部の様子

(左から)原副所長補佐、千田教授、鈴木所長

DATE 2024.8.6/20

今年で12年目

名市大「BLS講習会」を開催 ※BLS…Basic Life Support

2024年8月6日(火)午前・20日(火)午前・午後の3回、学生や教職員を対象に胸骨圧迫やAED、人工呼吸などの一次救命処置の実践方法を学ぶ講習会「BLS講習会」を開催しました。東部医療センター救急科の松嶋麻子教授がディレクターを、救命救急サークルMeLSC(メルシー)の学生がインストラクターを務め、3回で学生・教職員を合わせて81名の方に参加いただき盛況でした。講習の中で、松嶋先生は「119番から救急車が到着するまでの時間は、名古屋市で約6分。その6分の間でできる事がある。ちょっとした知識と勇気で救える命がある」と訴えました。いざという時に一人でも多くの命を救えるように、今後も本学ではBLSの普及に努めています。



講習会の様子

DATE 2024.9.13/14

芸術工学部 名古屋市立大学病院 絵画と音楽の共演!

ヘルスケアアートパフォーマンスを行いました

2024年9月13日(金)、14日(土)に、パリで活躍するアーティストMathias Bensimon(マティアス ベンシモン)さんと本学芸術工学部の学生による患者さんや来院者、医療従事者のためのヘルスケアアートパフォーマンスを行いました。

名市大病院の住所である川澄町にちなんで「命のつながり—澄んだ川— le lien de la Vie -rivière claire -」をテーマに、約4.5mの大きな板に様々な色を使い、アートによる日仏交流を通して患者さんや来院者、医療従事者の健康を願い、絵が作成されました。

最後の1時間は、バイオリンやギター、ハーモニカの演奏が行われ、アトリウムに美しい音色が響き渡る中で絵が完成。会場に集まった方々を魅了し、笑顔があふれるひとときとなりました。



ヘルスケアアートパフォーマンスの様子

DATE 2024.10.2

千田嘉博教授と東海大学・春風亭昇太客員教授による対談イベント

「静岡×名古屋の城 ~集え!城あるところ、我らあり~」を開催しました

2024年10月2日(水)静岡市清水文化会館(マリナート)にて、本学の千田教授と東海大学の春風亭昇太客員教授による対談イベントを開催しました。東海大学と本学のコラボ企画として開催され、当日は、地域の方々、東海大学の学生や教職員など約250名の方が来場されました。

「静岡×名古屋」と題したトークバトルでは、春風亭昇太客員教授が今川家の居館「今川館」について、跡地から発見された出土品や史料を紹介しました。一方、千田教授は信長生誕の城として知られる「勝幡城」や居城であった「小牧山城」の特徴を説明しました。両県の城郭の魅力を語り合い、会場内の参加者は2人の掛け合いに引き込まれていました。

参加者からは、「お二人の話にうなずきながら聞き入りました。次は全国の城をテーマに開催してほしい」という感想が寄せられました。



千田教授と春風亭昇太客員教授の対談の様子

DATE 2024.10.10-12



ブース出展の様子

薬学部 経済学部 人文社会学部

SDGs AICHI EXPO 2024 に参加しました

2024年10月10日(木)～12日(土)の3日間、Aichi Sky Expo(愛知県国際展示場)で開催されたSDGs AICHI EXPO 2024(主催:愛知県他)に参加し、ブースを出展しました。人文社会学部の曾我幸代准教授ゼミによる「SDGs達成に向けて自分ができること」を考えるワークショップや経済学部の濱口泰代准教授ゼミの「祭りを通じた地域参加」の活動紹介のほか、薬学部の鈴木匡特任教授・堀英生講師と学生による研究成果「医薬品PTPシートのリサイクル」についての紹介も行いました。3日間を通じて、ワークショップや活動紹介により本学の様々なSDGsの取り組みを紹介することができました。



DATE 2024.9.6

名古屋市立大学病院 ホスピタルピアノ常設記念ミニコンサートを開催しました

名市大病院では、外来診療棟の開院時から1階アトリウムにてグランドピアノでの自動演奏を行ってまいりました。今回、2024年9月6日(金)にどなたでも弾ける「ホスピタルピアノ」として開放することを記念し、ミニコンサートを実施いたしました。心臓血管外科の板谷慶一准教授と肝・膵臓内科の豊原祥資病院助教からクラシック音楽や誰もが一度は耳にしたことのある曲が演奏されました。とても素晴らしい演奏で、当日は、多くの方にお集まりいただき、患者さんをはじめ聴衆の方々に癒しを感じていただけるミニコンサートとなりました。ミニコンサート終了後には、早速患者さんやご家族が楽しそうに演奏されていました。ホスピタルピアノは、平日の14時から16時まで開放しており、連日たくさんの方に患者さんを癒す演奏をしていただいております。アトリウムにお立ち寄りの際はぜひ鑑賞してみてください。



ミニコンサートの様子 板谷先生(左)と豊原先生(右)



東部医療センター 東部医療センター産婦人科 近藤好美助教(診療担当)がカンボジアでの医療支援活動に参加しました

<近藤医師コメント>

中学生の頃に途上国の現状を知り、医療行為を受けたくても受けられない人々を救いたいと思い医師を志しました。国際医療NGO「ジャパンハート」での活動は初期研修医時代にミャンマーでの活動に参加してから4回目、今回、初めて長期ボランティア医師として半年間カンボジアで活動しました。現地では、産婦人科医として24時間オンコールで土日休みなく業務に従事しました。外来、手術、分娩、NCP(新生児蘇生法)の普及、助産師や看護師へのレクチャー、貧困地のヘルスセンターへの巡回、現地病院の医師の指導などを行いました。国内の貧富の差、制度、歴史的な背景による現状など考えさせられることも多くありましたが、国の発展は目覚ましく未来を感じました。現地での経験を臨床に生かすとともに、貴重な経験としてカンボジアの現状を伝えていけたらと思います。



近藤好美助教(診療担当)



現地での活動の様子



DATE 2024.11.22

SDGsまつりに参加しました

2024年11月22日(金)、名古屋東京海上日動ビルディングで「SDGsフェスティバルin名古屋丸の内」のオープニングイベントとして、SDGsまつり(主催:東京海上日動火災保険株式会社)が開催され、ブースを出展しました。当日は、本学の研究、教育、学生活動の取り組みについてポスター等で展示を行い、SDGs達成に向けた活動について広く紹介しました。本学のブースには、行政、企業、他大学など様々な機関の方が立ち寄り、SDGsの取り組みに関する情報交換を行いました。



ブース出展の様子



新型コロナウイルス感染症対応記録集の冊子版を発行しました

本学では2023年5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類となったことを区切りとして「新型コロナウイルス感染症対応記録集」を作成しました。本記録集は本学ウェブサイトにてPDF版を公開しておりましたが、このたび冊子版を発行いたしました。

本学が感染対策として実施してきた教育面、医療面における様々な取り組みの記録に加え、冊子版発行にあたって当時の各関連部門の教職員によるコラムを追加しております。本記録集は、全国の大学、市内小中学校等に配布いたします。また、本学ウェブサイトに掲載のPDFも更新しておりますのでぜひご覧ください。本記録集を通じて本学の取り組みを知っていただくとともに、今後の感染症対策の一助となりましたら幸いです。



記録集はこちらから↑



国際交流



INTERNATIONAL ↔ EXCHANGE

トリノ工科大学(イタリア)と海外拠点設置合意を締結しました

2024年9月19日(木)、本学の浅井清文学長、芸術工学研究科の青木孝義研究科長がイタリア・トリノ市を訪問し、トリノ工科大学(PoliTo)との間で海外拠点合意書を締結しました。

PoliToと本学とは2001年に大学間交流協定を締結し、その後2005年には名古屋市がトリノ市と姉妹都市提携を締結しています。両大学間では毎年交換留学を実施しており、これまで建築学で行ってきた共同研究を生体医工学の分野においても拡大していく方向で、本学医学研究科・病院との交流が期待されています。

本学にとってはトルコ・韓国・フィリピン・タイ・ドイツ・インドネシア・フランスに続き、8校目の海外拠点校設置になります。同大学との間で学術や学生交流を今後積極的に進めていきます。



海外拠点合意署名式後の記念撮影 左2人目より右へ
青木孝義芸術工学研究科長、浅井清文学長、エレナ・バラリス学長代理、
アルベルト・サポーラ副学長と出席者の皆様

薬学部

第9回 名古屋・岐阜・瀋陽・南京 薬学学術シンポジウムを開催しました

2024年9月15日(日)～16日(月・祝)に、本学薬学部・薬学研究科を会場にして、第9回名古屋・岐阜・瀋陽・南京 薬学学術シンポジウムを名城大学薬学部、岐阜薬科大学、瀋陽薬科大学と、南京市にある中国薬科大学との共催、駐名古屋中国総領事館の後援で、開催しました。本シンポジウムは、1998年に第1回を開催して以降、1～3年に1度、名古屋、南京、瀋陽の各都市で開催され、薬学における日中間の学術交流の場として発展してきました。今回はCOVID-19のため、2018年に南京市で第8回が開催されて以来、6年ぶりとなりました。今回は、基調講演3題、一般口頭発表33題、ポスター発表74題の発表があり、瀋陽薬科大学から15名、中国薬科大学から28名をお迎えし、全体で200名の参加がありました。各発表において活発な議論が行われ、有意義な学術交流となりました。



シンポジウム参加者集合写真

大学院 看護学研究科

海外拠点校 ルートヴィクスハーフェン経済大学(ドイツ) 助産学部と交流を深めています

大学間交流協定を結んでいたルートヴィクスハーフェン経済大学(ドイツ)が2023年3月に海外拠点設置合意校となりました。看護学研究科では、1年をかけてオンライン交流を進め、2024年3月には本校から先方の大学へ視察・交流会を行いました。視察では先方の大学のSkills Labo(シミュレーションセンター)や大学病院産科病棟への見学など、盛りだくさんの内容で出迎えていただきました。また、5月にはこの視察・交流の報告会を行い、学内外からの参加者も40名を超えました。7月にはMichaela Michel-Schuldtt助産学部教授からドイツの産後ケアについて、オンライン講義も開催していただきました。初めての試みが続いていますが、学生・教員共に楽しみながらドイツと日本の助産について語り合っています。



視察・交流会での集合写真

短期海外研修報告会を開催しました



報告会の様子

2024年10月10日(木)、対面とZoomのハイブリッド方式で短期海外研修報告会を開催しました。短期研修参加者及び短期研修・留学に興味のある学生約40名の参加がありました。チュンアン大学(韓国)、ルートヴィクスハーフェン経済大学(ドイツ)、カルガリー大学(カナダ)、文藻外語大学(台湾)の短期研修に参加した学生達が、現地の食事や宿舎、授業の様子、研修を通して学んだこと等について、写真を交えながら報告。参加者は真剣に聞き入っていました。報告の様子は録画され、海外留学に興味のある高校生向けにも配信されます。

留学生 Welcome Party を開催しました

2024年10月12日(土)、滝子キャンパス生協食堂にて、国際交流サークル「NCU GO!」「よいしょ」共催のもと、秋から本学にて新たに学ぶ留学生のみなさんを歓迎するWelcome Partyが開催されました。本学に在籍する外国人留学生・日本人学生・教職員等総勢約70名が参加し、学生の司会進行のもと、トビックトークやゲーム、ビンゴ大会などが行われました。トークやゲームでは、どのグループも言語の壁なく盛り上がり、ビンゴ大会では、数字が出るたびに一喜一憂する様子がみられました。パーティー全体を通して、普段顔を合わせることのないキャンパスの学生同士が輪になって交流を深め、留学生のみなさんを歓迎しました。



参加者の集合写真

留学生たちと瑞穂区民まつりに参加しました

2024年11月9日(土)、韓国、中国、ドイツ、ベトナムからの留学生と、国際交流サークル「NCU GO!」の学生計10名で瑞穂区民まつりに参加し、ブースを出展しました。「世界の言葉であいさつしよう」というテーマで、それぞれの出身国のあいさつを市民の方に紹介し、一緒に発音して練習しました。発音が難しいところは留学生と一緒に話してみるなど、皆さん楽しそうに世界のあいさつを体験していました。子どもを中心に400名以上がブースを訪れ、大盛況のもと終えることができました。市民との交流に加え、日本のお祭りを楽しむことができ、留学生にとっても素敵な体験となりました。



参加学生の集合写真



学生の活躍



経済学部 人文社会学部

有志学生によるSDGs意識改革プロジェクト始動
売上の一部が寄付される仕組みの自動販売機を設置しました



学生へのSDGs活動の啓発に取り組むサークル「サステナカレッジ」の有志学生が大学側に働きかけ、売上の一部が貧困・飢餓に苦しむアフリカ・アジアの子どもたちに学校給食提供を目的として寄付される仕組みを導入したCFT(CUP FOR TWO)自動販売機を滝子キャンパス2号館入口に設置しました。「学生がSDGsを意識し、行動する」ことを目的に始まった『SDGs意識改革プロジェクト』活動の一環として、大学と学生の協働により実現しました。今後も学生によるさまざまな取り組みを企画していきます。

CFT自動販売機の設置を提案した学生
左から楓智衣さん(経済学部2年)、岩田彩楓さん(人文社会学部2年)、
原康祐さん(人文社会学部2年)

活動の詳細はこちらから→
(SDGsセンターウェブサイト)



経済学部 伊藤手帳(株)と山本ゼミの産学連携商品

「パッチワーク日記」完成品発表会を行いました

2024年10月9日(水)滝子キャンパスにて、経済学部山本奈央ゼミ4年生スケジュールサムライ(木村斗真さん、中川愛耶さん、中山美月さん、藤井果歩さん)が「パッチワーク日記」の完成品発表会を行いました。本商品は、産学連携商品開発イノカレStudent Innovation College(Sカレ)の一環でデジタル化時代に必要の手帳というテーマで商品開発に取り組んだものです。当日はチームによる商品プレゼンの後、完成した「パッチワーク日記」をチームメンバーがはじめて手にしました。当日は、伊藤亮仁社長はじめ伊藤手帳株式会社の皆さま、中山徳良経済学部長、経済学部生をはじめとする多くの方にご参加をいただき、完成品をお披露目することができました。

なお、本商品は2024年10月より伊藤手帳 ユメキロックECサイト販売にて発売中です。



(左から)伊藤亮仁社長、中川愛耶さん、木村斗真さん、中山美月さん、藤井果歩さん



芸術工学部 韓国の水原市で開催!

アジア各国からの参加による大学映画祭で
入選作品が上映されました

2024年9月、芸術工学部の栗原康行教授の映像研究室作品が韓国の水原市で開催された“10th Gyeonggi Film School Festival 2024”で招待上映されました。本学から代表で参加し、プレゼンテーションしたのは芸術工学部情報環境デザイン学科2年 瀬尾佳音さんと石川奏さんです。Screeningでは英語での概要説明と質疑応答を行い、会場からは暖かい拍手をいただきました。

映像作品名
「王冠釣りに行った頃」
("The Bottle Cap") (20min)

【あらすじ】

3人の少年少女がさまざまな知恵をつかひながら身の回りの小さな冒険を紡ぎ出してゆくお話。彼らはみな身の周りの冒険を毎日楽しむが、どこかのタイミングでそれもやがて終わりを迎える。現在の「大人になった主人公」は仕事ばかりの毎日を過ごしているが、あるきっかけで当時を思い出しながら当時を振り返り、自らの人生について考える物語。



参加した石川奏さん(写真左)と瀬尾佳音さん(写真右)



経済学部 経済学部生が「宮の浜踊り」「本地祭り」に参加しました

経済学部濱口泰代ゼミでは、地域の祭りへの参加・協力を通して、持続可能な都市のあり方について考えています。

2024年9月15日(日)にはNPO法人堀川まちネットの皆さんらが運営される「宮の浜踊り」に参加しました。「神戸節」という江戸時代に熱田から全国に広まり都々逸として知られるようになった独特の節回しの歌に合わせて、ドイドイ踊り(男踊り)とサクサク踊り(女踊り)を踊りました。『そいつはどいつだ ドイツドイドイ 浮世はサクサク♪』という台詞がしばらく耳を離れませんでした!

2024年10月5日(土)は、南区の伝統ある祭り「本地祭り」に参加しました。本地祭りの山車のひとつである本町の山車の組み立てから関わらせていただきました。星宮社に各町の山車が集まったときの祭りの盛り上がりは、言葉にならないくらい感動しました! 今後も地域活動の活性化や伝統文化の保護を目指し、活動を続けていきます。



宮の浜踊りのゼミ生集合写真



本地祭りの様子



人文社会学部

学生が考案したシンボルマーク&キャッチコピーが採用!

2024年10月20日(日)にナディアパーク(中区)で、なごやNPO応援フェスが開催されました。そのプログラムとして、ナディアパーク2階のアトリウムで、名古屋市市民活動推進センターのシンボルマーク&キャッチコピーを決めるコンテストが行われました。参加者による投票の結果、人文社会学部国際文化学科1年生の石田あかりさんが考案したシンボルマーク&キャッチコピー(「市民のちからでいきいきなごや」)が採用されました。今後は、名古屋市市民活動推進センターのSNSなどで、石田さんが考案したシンボルマーク&キャッチコピーが活用される予定です。



賞状を持つ石田あかりさん(右)

学生の受賞

※学年は受賞時

医学部 大学院 医学研究科

第40回 日本TDM学会・学術大会 「IATDMCT学術大会」派遣賞

＜演題＞Evaluation of target area under the concentration-time curve of vancomycin in an initial dosing design: a single-center retrospective cohort study

＜受賞者＞医学研究科 臨床薬剤学分野 博士課程2年
飯田 萌子 さん



第40回 日本TDM学会・学術大会 若手優秀演題賞

＜演題＞バンコマイシン投与早期の急性腎障害予測因子の探索と2日目AUCの閾値推定

＜受賞者＞医学研究科 臨床薬剤学分野 博士課程2年
飯田 萌子 さん



日本排尿機能学会 令和6年度 河邊賞

＜演題＞The effects of a novel photo-reactive NO-donor “NORD-1” on internal urethral relaxation using an intrapelvic nerve injury rat model

＜受賞者＞医学研究科 臨床薬剤学分野 博士課程1年
野田 みすず さん



第56回 日本医学教育学会 Student Award

＜演題＞臨床実習におけるロールモデルとの出会いが学生に与える影響

＜受賞者＞医学部6年 伊藤 理子 さん



大学院 薬学研究科

第5回 和漢医薬学会若手研究者フォーラム 優秀発表賞

＜演題＞附子剤の「散寒止痛」を科学する
～牛車腎気丸の冷痛覚過敏改善を中心に～

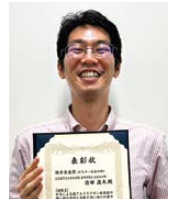
＜受賞者＞薬学研究科 博士前期課程2年
能瀬 逸紀 さん



第41回 和漢医薬学会学術大会 優秀発表賞

＜演題＞甘草による偽アルドステロン症発症の個人差の原因と発症を予測するための尿中マーカーの探索

＜受賞者＞薬学研究科 生薬学分野 博士課程4年
迫田 凌太 さん



経済学部

2024 All Japan PBFJ Finance Shark Tank Follow Up Special Conference Undergraduate の部 Best Presentation Award

＜演題＞Do women's activities increase corporate value in construction industry?

＜受賞者＞経済学部 会計ファイナンス学科4年
山本 遥 さん、山田 佳奈 さん(共同研究者)



山田佳奈さん(左)、山本遥さん(右)

＜演題＞The relationship between ESG score and foreign ownership: A comparison between Resource and Financial industry

＜受賞者＞経済学部 会計ファイナンス学科4年
篠田 崇 さん



大学院 理学研究科

第48回 有機電子移動化学討論会 優秀ポスター賞

＜演題＞メトキシ化スピロピフルオレン環状3量体ラジカルカチオンの分子内電子移動

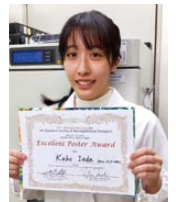
＜受賞者＞理学研究科 博士後期課程1年
今井 友也 さん



第57回 日本発生生物学会年会 Poster Award

＜演題＞線虫C. elegansで発生速度を制御する遺伝子の同定

＜受賞者＞理学研究科 博士前期課程2年
家田 花歩 さん



大学ウェブサイトに

「フォトギャラリー」を更新しました！

本学の魅力をPRする特設サイト「見る・聞く・知る名市大」の「フォトギャラリー」を更新しました。

名市大の4つのキャンパスそれぞれの授業風景や研究の様子、キャンパス内の風景を掲載しています。名市大の「今」の雰囲気を感じて楽しんでいただくことができますので、ぜひ一度ご覧ください。



フォトギャラリーはこちらから↓

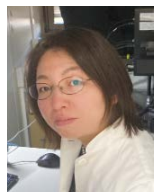


PRIZE 受賞

※受賞期間:2024年6月~2024年9月頃 ※研究科・学部ごと、受賞日順に掲載



■医学研究科



一般財団法人バイオインダストリー協会
第8回 バイオインダストリー奨励賞

<受賞者>
医学研究科 神経発達・再生医学分野
特任助教 中嶋 智佳子

<題目>
脳傷害における人工足場マテリアルを用いた
神経再生・脳機能回復促進方法の開発



第47回 日本神経科学大会(Neuro2024)
若手育成道場優秀発表賞

<受賞者>
医学研究科 神経発達・再生医学分野
特任助教 松本 真実

<題目>
細胞接着の調節は神経細胞の集団移動と脳機能回復を促進する

■薬学研究科



一般社団法人日本がん予防学会
日本がん予防学会奨励賞

<受賞者>
医学研究科 実験病態病理分野
准教授 内木 綾

<題目>
酸化ストレスを基盤とした発がんモデル樹立による
メカニズム研究とルテオリンによる予防研究



令和6年度 日本生薬学会論文賞

<受賞者>
薬学研究科 生薬学分野
教授 牧野 利明

<題目>
Heating or ginger extract reduces the content of
Pinellia ternata lectin in the raphides of *Pinellia* tuber.

令和6年度 理事長表彰

本学で教育、研究、社会貢献、管理・運営、診療の分野で顕著な業績を挙げ、本学の発展に尽くされた方を表彰するものです。

■教育

経済学研究科 准教授 山本 奈央
芸術工学研究科 准教授 中川 隆

■研究A

医学研究科 准教授 水野 健太郎
芸術工学研究科 教授 青木 孝義

■研究B

薬学研究科 講師 矢木 真穂
看護学研究科 准教授 秋山 直美

■社会貢献

医学研究科 講師 山岸 庸太
人間文化研究科 教授 山本 明代
理学研究科 教授 奥津 光晴

■管理・運営

看護学研究科 教授 窪田 泰江
データサイエンス学部 准教授 小川 泰弘

■診療

医学研究科 講師 伊藤 剛
医学研究科 教授(診療担当) 笹野 信子(西部医療センター)
医学研究科 准教授(診療担当) 小林 真(みどり市民病院)



教員著書・発行物紹介



編著:医学研究科
感染症学
教授
伊東 直哉
出版:2024年4月
中外医学社

感染対策の手引き



監修:医学研究科
感染症学
教授
伊東 直哉
出版:2024年4月
中外医学社

抗微生物薬のマネジメント戦略
~ケースから考える
抗菌薬・抗真菌薬の使い分け~



著者:医学研究科
脳神経外科学
講師
山田 茂樹
出版:2024年10月
中外医学社

成人慢性水頭症
ハキム病診療ハンドブック



イベント参加者募集!

名古屋市立大学が主催するさまざまなイベントの情報をお届けします。ぜひご参加ください。

開催日	内容	時間・場所・費用など	申込方法
2.12 WED	なごや看護生涯学習公開講演会 テーマ:「優しさを伝えるケア技術 ユマニチュード®」 講演者: 東京科学大学病院、 ユマニチュード認定インストラクター 内山 亜紀子	18:00~19:30 場所: 名古屋市立大学病院 3階大ホール 費用: 1,000円(学部生無料)	名古屋市電子申請サービス、または、名古屋市立大学看護地域連携センターホームページより参加申込書をダウンロードし、メール添付にて申込。 Eメール: n.center@med.nagoya-cu.ac.jp  詳細はこちら↑
2.19 WED	看護研究のすすめ 「研究の個別相談」 講師: 看護学研究科 教授 久保田 正和	10:00~16:00 (1件30分程度) 場所: 桜山キャンパスまたは オンライン(Zoom) 受講料: 無料	名古屋市電子申請サービス、または、名古屋市立大学看護地域連携センターホームページより参加申込書をダウンロードし、メール添付にて申込。 Eメール: n.center@med.nagoya-cu.ac.jp  詳細はこちら↑

交流会だより

令和6年度 名古屋市立大学交流会 総会・講演会・懇親会の開催について

下記の通り令和6年度名古屋市立大学交流会 総会・講演会・懇親会を開催いたします。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

講演会講師: 杉本 昌隆 氏 (将棋棋士)
 テーマ: 「師匠が語る、藤井聡太という才能」
 医学部3年の森本女流棋士との対談あり



杉本昌隆氏

<日時> 2025年2月1日(土) 開場14:30、総会・講演会15:00~17:00、
 懇親会17:00~19:00

<場所> 名古屋マリオットアソシアホテル

<費用> 10,000円(懇親会参加費) ※学生及び令和5年度卒業生は懇親会無料

<申込方法> 交流会HP、メール、FAXにてお申込みください。

交流会HP: 二次元コードを読み込んでください

メール: koryukai@sec.nagoya-cu.ac.jp

FAX: 052-841-6201 申込期限: 2025年1月17日(金) 必着

名古屋市立大学交流会とは?

名古屋市立大学、名古屋市立女子短期大学及び名古屋市立保育短期大学の卒業生や在学生、退職・退官された教職員、現役教職員等を会員とする全学レベルの組織です。



名古屋市立大学
交流会HP→

「大学スマホ・サイト ユーザビリティ調査2024-2025」で 全国第4位の評価を いただきました

株式会社日経BPコンサルティングが、使いやすさや実用性の観点から大学のスマートフォン・サイトを評価する「大学スマホ・サイトユーザビリティ調査2024-2025」を実施。本学は全国第4位の評価をいただきました。大学スマホ・サイトユーザビリティ調査は、株式会社日経BPコンサルティングが大学サイトを8つの診断指標によりスコア化し診断する調査です。対象の大学サイトは、国立・公立・私立の265校です。今後も、本学では誰もが使いやすいわかりやすいウェブサイトを目指してまいります。

寄附顕彰

大学振興基金

■個人

- 10万円以上 井上 和子 様、近藤 彩 様、山本 喜通 様
- 5万円以上 町田 佳男 様
- 1万円以上 赤崎 義雄 様、伊藤 利之 様、小汐 勝己 様、高須 康子 様、寺脇 潔 様
- 5千円以上 鈴木 進吾 様
- 非公表 伊藤 正徳 様、井上 靖道 様、上野 雄也 様、岡部 純子 様、唐田 請 様、鬼頭 良彰 様、高橋 康明 様、谷寄 優 様、古井 伸隆 様、保浦 滋信 様、宮島 愛 様、山縣 真樹 様

名市大生みらい応援基金

■個人

- 1万円以上 赤崎 義雄 様
- 5千円以上 鈴木 進吾 様
- 非公表 唐田 請 様、谷寄 優 様、樋澤 吉彦 様、山縣 真樹 様

※五十音順。2024年7月1日から2024年9月30日までに寄附をいただき、公表に同意された方。
 ※インターネットからお申込みいただいた方につきましては、クレジットカード会社または決済代行会社から本学へ入金された日が上記期間に該当する方。



【SDGsのアイコン(1~17のGOAL)】

SDGsとは「Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標」の略称で、17のGOALが設定されています。本学もSDGs達成に向けた活動を推進しているため、関連するGOALのアイコンを各記事に表示しています。

募集中! 広報誌「創新」のご意見・ご感想などをぜひ総務部 広報室までお寄せください!

▶▶▶ E-mail: ncu_public@sec.nagoya-cu.ac.jp